

東京スカイツリーの秘密

日本芸術院会員、東京芸術大学元学長

澄川喜一

*錦帯橋に一目惚れ

*「そりのあるかたち」で監修に

*正三角形の稜線は途中まで

*そりと折りと五重塔

*溶接でつくった塔

*五重塔はなぜ倒れないか

*神業のスネークダンス

*アクアラインに「風の塔」

*私の作品を紹介します

*世界に売れる作品



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

今日は芸術院会員で東京芸術大学元学長、そして現名誉教授、文化功労者の澄川喜一先生においでいただきました。経済倶楽部80年の歴史で芸術院会員の講演は初めてかもしれませんが、すばらしい芸術家をお呼びしましたので、今日は政治、経済のことはちよつと忘れて、芸術や文化、建築の世界でひとときお過ごしいただきたいと思います。

澄川さんは、五重塔などの建築の「そり」というものに注目された作品をつくってこられておりまして、今日そのあたりもご説明いただけます。話題のスカイツリーについてはデザインを監修されましたので、その内幕についてもなにかとご存じで、いろいろ指導された面

からも興味深い話をしていただけるでしょう。

五重塔などの日本の建築技術とスカイツリーがどういうふうにつながっているかということについては、とても面白い話になるはずですし、今日は冗談をいっぱい言われるでしょう。その意味でもお楽しみいただきたいと思います。それでは澄川さん、よろしくお願いたします。（拍手）

澄川 ただいまご紹介いただきました澄川でございます。私は一介の彫刻家でございます。芸術の中でいちばん売れない仕事をしております。（笑）経済がよくなつて、もう少し売れるように皆さんご協力いただきたいと思つて、今日参りました。そうそうたる方の前であまりホラは吹けないなと思つておりますが、私が彫刻